

# リハビリテーション科

# 名古屋大学医学部附属病院



病院長名	石黒 直樹
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
交通案内	JR中央線「鶴舞駅(名大病院口)」下車 徒歩3分 名古屋営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩8分

## 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT(On the Job Training)を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

名古屋大学リハビリテーション科専門研修プログラム

### 【研修目標】

- 世界標準のリハビリテーションを提供できる
- チーム医療においてリーダーシップが発揮できる

### 【研修期間】

3年

### 【研修スケジュール】

大学病院をはじめ、関連研修施設には都市型の総合病院、回復期病床をもつリハビリテーション専門病院、小児や在宅リハビリテーションなど専門性の高い研修を行うことができる施設が幅広く揃っています。このため研修プログラムの3年間で、大学病院や総合病院における急性期リハビリテーションの研修、回復期病床における回復期の研修、専門性のあるリハビリテーション医療の研修、の3本柱から成る研修が可能です。さらに維持期(生活期)のリハビリテーション、障害者福祉なども経験することができます。3年間でどのような経験を積むかは個々の目標により異なるため、専攻医の希望に合わせてオーダーメイドで検討します。



▲嚙下造影



▲新生児の診察

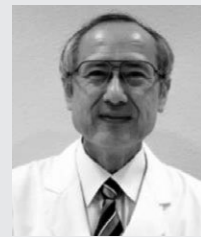
## 主な連携施設

名古屋第二赤十字病院	協立総合病院
国立病院機構東名古屋病院	八千代病院
国立病院機構名古屋医療センター	あいちリハビリテーション病院
上飯田リハビリテーション病院	小牧市民病院
安城更生病院	あさひ病院
愛知県心身障害者コロニー中央病院	可知病院

## メッセージ

指導医

副部長 杉浦 英志



名古屋大学リハビリテーション科専門研修プログラムは、中部地区を中心とする多くの医療機関やリハビリテーション関連施設において世界標準にふさわしいリハビリテーション医療を提供できる人材、そして将来のリハビリテーション医療におけるリーダーシップを発揮

できる人材を育てるため、幅広い症例を対象として経験豊富な指導医が教育することを目指しています。基幹研修施設である名古屋大学医学部附属病院は1035病床を持つ特定機能病院で、一般医療機関では実施することが難しい手術や先進医療・高度医療などの高度でより専門的な医療を提供します。その中でリハビリテーション部門は全診療科からの協力を得て1日当たりおよそ250名以上の患者のリハビリテーション医療に携わっています。基幹病院として多くの紹介症例があり、疾患の内容は多岐にわたります。各科には特徴的な診療分野があり、一般的な疾患から専門性の高い疾患まで、研修中に多くの症例を経験することができます。関連研修施設も充実しており、研修を受けるには最高の環境が整っています。

## 募集要項

採用予定人数	3人
給与/月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給
当直回数/月	希望に合わせて考慮
当直料/回	20,000円/回
その他	平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可
応募連絡先	担当者 門野 泉
	電話番号 052-744-2686
	Eメール kadono@med.nagoya-u.ac.jp

# 名古屋市立大学病院



病院長名	小椋 祐一郎
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

## 病院の特徴

当院は808床の病床、30の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

## 研修プログラムの特徴

「名古屋リハ科専門研修プログラム」は、名古屋市立大学病院（基幹施設）と8つの連携・関連施設からなるリハ専門医育成プログラムです。リハ医療や福祉・介護領域で、リハスタッフのリーダーとしてチームを牽引できる専門医を育成し、更には研究・教育面でも活躍できる人材を育てます。経験豊かな指導医の下、多様な研修施設で急性期・回復期および生活期のリハ医療を研修でき、基礎および臨床研究も可能とします。

### <研修モデル>

専攻医	A	B	C	D
2017.4-9	大学	大学	津島	小牧
2017.10-2018.3	津島	小牧	大学	大学
2018.4-6	リハセン	サニーサイド	済衆館	上飯田リハ病院
2018.7-9	済衆館		リハセン	
2018.10-12	サニーサイド	リハセン	上飯田リハ病院	済衆館
2019.1-3		済衆館		リハセン
2019.4-6	尾西記念	上飯田リハ病院	考友会	サニーサイド
2019.7-9				
2019.10-12	上飯田リハ病院	津島	サニーサイド	津島
2020.1-3				

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照  
[http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist\\_prg/dept.html](http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html)



## 主な連携施設

名古屋市総合リハビリテーションセンター

津島市民病院	小牧市民病院
サニーサイドホスピタル	尾西記念病院
考友会クリニック	済衆館病院
上飯田リハビリテーション病院	全8施設

## メッセージ

今、最も求められている専門医、それはリハ医です。

リハビリテーション科 部長 和田 郁雄



リハ医とはリハ診療技術を駆使して、障がい者（児）の機能や能力を最大限に引き出し、生活環境を整えて社会参加を促すことを目的としたリハ医療集団のリーダーです。

リハ医は医療・福祉・介護分野で需要比率が最も高い、つまり最も必要とされている専門医と言えます。（平成22年6月厚生労働省調査より）。

当科では幾多の専門医を育成してきた実績があります。

摂食・嚥下やニューロリハ診療等の高度な診療技術の習得も可能です。

## 募集要項

採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定	
給与／月額	228,000円～478,000円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)	
当直回数／月	4回程度(診療科により異なる)	
当直料／回	24,000円～34,000円	
その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
応募連絡先	担当者	医学・病院管理部教育研究課医療人育成係 専攻医募集担当
	電話番号	052-853-8545
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

# 藤田保健衛生大学病院

平成30年1月 新棟オープン



病院長名 湯澤 由紀夫

所在地 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

交通案内 名鉄線名古屋駅より(22分)前後駅下車、名鉄バス(15分)「大学病院」下車 / 桜通線名古屋駅より(35分)徳重駅下車、名古屋市営バス徳重13系統または名鉄バス(16分)「大学病院」下車 / 鶴舞線伏見駅より(21分)原駅下車、名古屋市営バス徳重13系統(33分)「大学病院」下車

## 病院の特徴

豊明市内の当院は、道路を渡れば名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応し、DPC導入影響評価に係る「退院患者調査」ではDPC件数が全国大学病院で第1位でした(平成26・27年度)。

リハビリテーション(リハビリ)科は、総勢170名のスタッフを抱え、1,900㎡の広大なリハビリセンターに多数のリハビリロボットを含む最新の評価・治療機器と配置し、急性期を主体として障害をもつ患者の機能回復あるいは不働・廃用予防に対応しています。2018年1月には60床の最先端の回復期リハビリ病棟をオープンし、より一層「活動」にフォーカスした医療を展開します。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

藤田保健衛生大学病院リハビリテーション科専門研修プログラム

### 【研修目標】

リハビリ医療の基本知識と技能を身につけ、障害のある患者に対し、包括的な医学管理のもと活動再建を支援できる。

### 【研修期間】

3年

### 【研修スケジュール】

#### 〈基本スケジュール〉

大学病院(急性期、救急病棟リハビリ):6ヶ月、

坂文種報徳會病院(急性期、心臓リハビリ):6ヶ月、

回復期リハビリ病棟:2年

#### 〈専門研修1年目〉

リハビリ科の基本知識と技能を理解し、指導医の指導の下で各種検査を実践する。評価結果を理解し、訓練を含む必要な治療内容を指導医と共に立案する。

#### 〈専門研修2年目〉

指導医の助言の下で評価・検査・治療を実践し、リハビリ関連職種、専門診療科とのカンファレンスに参加し、実際の治療へ応用する力を養う。

#### 〈専門研修3年目〉

評価・検査・治療について中心的な役割を果たし、専門医取得に向け、より専門知識・技能の習得を図る。

## 主な連携施設

藤田保健衛生大学七栗記念病院、藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院、国立長寿医療研究センター、刈谷豊田総合病院、中部ろうさい病院、中京病院、鶴飼リハビリテーション病院、宇野病院、三九朗病院、輝山会記念病院、松坂中央総合病院、花の岡病院、足利赤十字病院、国際医療福祉大学病院、初台リハビリテーション病院、船橋市立リハビリテーション病院、近森リハビリテーション病院、佐賀大学医学部附属病院

## メッセージ

指導医  
教授 才藤 栄一



藤田保健衛生大学リハビリテーション部門(藤田リハ)は2つのリハビリ医学講座と寄附講座があり、互いに密接な連携と取っています。大学病院では骨関節疾患、脳血管障害、悪性新生物、呼吸循環器疾患、神経筋疾患など、多様な疾患のリハビリ依頼が毎週140

名程度あります。リハビリ科医師が140名を超えるスタッフとチームを形成し、救命救急センターでの早期リハビリ、摂食嚥下回診、他科との合同カンファレンス、療法士の病棟専従配置等による綿密で高度なリハビリ医療を実践しています。

当科では「活動」を治療の中心におき、活動を生み出し、その変化を定量的に評価し治療にフィードバックするための、新しく、優れた、機器・モデル・システムの開発を主とした臨床研究に力を入れ、世界に発信しています。

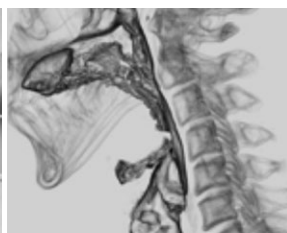
リハビリ医学は新しく、ユニークな切り口を持つ医学です。医学の進歩が成し遂げた「長命」をさらに「長寿」に結びつけるために、リハビリ医学の発展が社会に求められています。是非、一緒に藤田リハの最高の環境で学び、共に素晴らしいリハビリ医学・医療を創りましょう。お待ちしております。

## 募集要項

採用予定人数	6人	
給与/月額	基本給:月額268,840円 別途、賞与、その他各種手当、その他支給あり	
当直回数/月	4~5回/月	
当直料/回	当直12,000円/回 オンコール手当7,000円/回	
その他		
応募連絡先	担当者	柴田 斉子
	電話番号	0562-93-2167(医局)
	Eメール	sshibata@fujita-hu.ac.jp



▲3次元歩行分析の現場



▲3D嚥下CT

リハビリ  
テーション科

# 愛知医科大学病院



病院長名	羽生田 正行
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

## 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付けでNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元気ホスピタル～あなたを元気にする。私も元気になる」を病院のスローガンに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になって頂く事はもちろん、医療体制の分業化や本来業務」の特化を図る事で、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

愛知医科大学リハビリテーション科専門研修プログラム

### 【研修目標】

病気や外傷、加齢などによって生じる生活機能低下を予防、診断、治療し、心身機能の回復と活動向上、社会参加に向けてのリハビリテーション技術・知識を習得する。

### 【研修期間】

3年(1・3年目愛知医科大学および関連施設、2年目連携施設)

### 【研修内容】

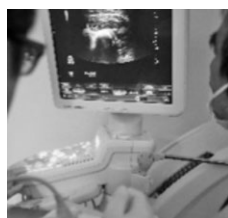
リハビリテーション科が診る疾病や生活機能は、(1)脳卒中、外傷性脳損傷など、(2)外傷性脊髄損傷、(3)運動器疾患・外傷、(4)小児疾患、(5)神経筋疾患、(6)切断、(7)内部障害、(8)その他(生活不活発病、がん、疼痛性疾患など)を中心として多岐にわたります。また、リハビリテーションは早期に開始するのが基本であるとともに、一生にわたる生活機能向上のために長期的に関わる点も特徴です。

疾病や生活機能を横断的に診ることと、時間的な経過を診るという両面にわたる研修を達成することを目標とし、基幹施設である愛知医科大学病院(急性期病院)、連携施設である東名古屋病院、あいちリハビリテーション病院、関連施設であるメイトウホスピタル、名南ふれあい病院が有機的に協力し合って充実した研修環境を提供します。

3年間の研修期間中に、日本リハビリテーション医学会が定める(1)～(8)の75症例を含む100症例をもれなく経験し、専門医を取得できるよう、プログラムが組まれています。



▲装具診



▲エコーガイド下での  
上肢痙縮筋のボツリヌス療法の現場

## 主な連携施設

### 【連携施設】

独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院  
医療法人仁医会 あいちリハビリテーション病院

### 【関連施設】

医療法人香徳会 メイトウホスピタル  
医療法人名南会 名南ふれあい病院

## メッセージ

指導医

教授 木村 伸也



愛知医科大学病院は特定機能病院として高い専門性を有し、基本領域とサブスペシャリティの幅広い診療科における専門医研修体制を構築しています。

特徴は診療科間の協働と交流が盛んなことであり、リハビリテーション科、神経内科、脳

神経外科、脳卒中センター、循環器内科、整形外科、痛みセンター、周産期母子医療センターなどと横断的交流の中で、専門性を発揮しています。また、日常診療を行って、リハビリテーション科医師が全診療科と協力しています。

愛知医科大学リハビリテーション科専門研修プログラムは、患者から信頼され、標準的な医療を提供できるリハビリテーション科専門医となるために、適切な教育を行い、十分な知識と経験を身に付けるための充実した構成となっています。

## 募集要項

採用予定人数	2人
給与/月額	基本給167,200円 +地域手当+調整加算手当等 約56,000円
当直回数/月	1～2回
当直料/回	(救急外来)宿直手当 約32,000円 (病棟)宿直手当 20,000円
その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
応募連絡先	担当者 木村 伸也
	電話番号 0561-63-1568
	Eメール rehab@aichi-med-u.ac.jp

# 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター



病院長名 原田 敦

所在地 〒474-8511 愛知県大府市森岡町七丁目430番地

交通案内 JR東海道線 大府駅よりバス約10分

## 病院の特徴

国立長寿医療研究センターでは、高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の構築に貢献するために、高い倫理性に基づく良質な医療、全人的・包括的な医療を提供することを理念としており、複数の疾患を有する患者が多いため、診療科別の縦割り診療ではなく、患者を全人的・包括的に診療できるような診療体制を構築している。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

国立長寿医療研究センターリハビリテーション科専門研修プログラム

### 【研修期間】

3年

当センターは国内に6つある国立高度専門医療センターの1つであり政策医療の牽引車として役割が与えられています。研修の中では、与えられた医療を学ぶだけでなく、国の施策に鑑み、我が国の新たな医療政策、治療方針を作り出して行く現場に立ち会うことができます。当センターには61名の医師が在籍し、基本領域とサブスペシャリティーの幅広い専門医研修体制を整備しています。特に高齢総合診療科、呼吸器科、整形外科、脳外科、もの忘れセンター、および神経内科とは密接な関係を築いています。そして、高齢者医療を扱う病院では通常みられない、回復期リハビリテーション病棟を有しており、高齢者の在宅復帰に関する問題点の解決法、高齢者医療を取り囲む社会福祉システムについて、深く学ぶ事ができます。

また、リハビリテーション科指導医が3名在籍し、ロボットリハビリテーション、骨・関節疾患リハビリテーション、摂食嚥下リハビリテーション、高次脳機能障害のリハビリテーション、脳卒中リハビリテーションなど、各々の専門分野を中心に広い領域のリハビリテーション治療をカバーしており、毎週の症例検討会でのケースプレゼンテーションを通じて、実践的な指導を行っています。

## 主な連携施設

藤田保健衛生大学病院(愛知県豊中市)

藤田保健衛生大学七栗記念病院(三重県津市)

輝山会記念病院(長野県飯田市)

中部ろうさい病院(愛知県名古屋市)

総合大雄会病院(愛知県一宮市)

あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市)

## メッセージ

指導医

リハビリテーション科 部長 近藤 和泉



国立長寿医療研究センターリハビリテ

ーション科専門研修プログラムは、今後の高齢化社会を見据えて、高齢者医療を集中的に学び、同時に小児から成人までを網羅した多くのリハビリテーション症例を経験することが

できる専門研修プログラムです。このため本プログラムでは、当センターのみならず、上記の6つの連携施設と密に連絡を取り合い、地域医療の中で求められる標準的なリハビリテーション医療の知識・技術を提供できる医師を養成していきます。このプログラムに高齢者医療およびそのリハビリテーションに熱意を燃やす専門研修医の先生に応募していただくことを願ってやみません。

## 募集要項

採用予定人数	4人
給与/月額	48万円程度/月
当直回数/月	2回
当直料/回	20,000円 1回あたり
その他	院内保育所有(週1回 夜間保育実施)
応募連絡先	担当者 総務部人事課
	電話番号 0562-46-2311
	Eメール yasuki-k@ncgg.go.jp